

2021 年度 3 学期始業式の挨拶

皆川勝

あけまして、おめでとうございます。年末年始にあたって、コロナ禍の制約の中でしたが、普段会えない方々との再会は叶いましたでしょうか、または自分へのご褒美としての休息をとることはできたでしょうか。

3 学期の初めにあって、今日は「難あり、有難し」という言葉についてお話をいたします。

「難あり」の「難」は、難しいという字です。つまり、「難あり」とは、困難や難題がある、困難や難題に遭遇するという意味となります。

また、「有難し」とは、「ありがたい」、「感謝をする」という意味ですが、もともとは言葉通り、「なかなかないことで、それに感謝する」ということかと思います。

まとめると、「難あり、有難し」とは、困難や課題に遭遇することに感謝する、となります。困難に出会い、それを克服する人生は、得難い貴重な人生であるとも言えます。

例えば、歴史的に多くの科学者が新しい発明や発見により、あるいは多くの医学者が未知の細菌に対するワクチンや特效薬を開発することにより、私たちの社会をより安全・安心な、あるいは快適なものにしてくれましたが、それらはまさに技術的・医学的な困難を乗り越えてくださった結果です。

困難や課題に遭遇し、それを乗り越えることで、社会が発展すると共に、それにかかわった個人としての存在意義が高まります。なぜ困難に出会うことに感謝するかと言えば、それは、困難を乗り越えることによって成長できる、得難い、有難い人生となるからだと言えます。

また、歴史的な偉人でなくとも、私たち一人一人の人間もまた、生きている限り、つねに、なんらかの困難に出会い、それを克服し、あるいは新たな道を探し、生きていると言えます。そのことにより、人間的に成長し、あるいは自らの生きていることの意義を再認識することができます。

大学受験本番を迎えている高校 3 年生の皆さんは、それぞれが描いた自分の人生への道を歩むために、目標とする大学や学部学科を定め、それに向かって努力されてきました。また、その他の学年の皆さんもまた、目標をもっていろいろな困難に立ち向かっておられると思います。生徒の皆さんの場合、知識・学識の習得、人間的な成長、部活などでの技術の習得などがありますが、すべての困難を完全に克服することは容易ではありませんし、

ときに苦しみを伴いますが、それに挑戦することにより必ず成長できますし、皆さんの成長がよりよい社会を作り出す力となってゆきます。困難に出会わない人はいませんので、すべての人の人生は得難い人生だと思います。

一方、困難に対処する姿勢や態度については人それぞれによって異なる部分がたくさんあります。ひとりひとりの人間は完全ではないし、異なっています。人間はそれぞれ違った仕方で、「自分なりに」不完全なのだとことを忘れてはなりません。しかし、その人のやりかたで不完全なのはその人だけです。簡単に言えば、一人一人が違う価値を持つということです。積極的に表現すると、ひとりひとりの人間が、なんらかの仕方でかけがえない存在、代わりのいない存在ということになります。

年末の歌番組のなかで、ある男性の歌手の方が、「今の自分が存在しているのは、両親、祖父母、曾祖父母、その先祖が居られたからで、そのお一人でも存在しなかったなら、今の自分は存在しないし、また、自分の子供、孫、その子孫にとって自分もまたそのような存在である」というようなお話をされ、「道標」という歌を歌われていました。

血縁がなくとも、私たちが生きている間には、「あの方との出会いがなければ、今の自分はあり得なかった」という方に必ず会えるものだと思います。そして、自分自身もまた、意識できるか否かを問わず、社会の中でどなたかに、その方の人生を左右するような影響を及ぼしてゆくものです。

このように考えてくると、私たちは、自分の周囲の方々やコミュニティー・社会を構成する他の人びとやその組織に関与することによって、この世の中で唯一無二の価値ある者として存在できているということになります。

若い皆さんには、どうか、皆さん一人一人がかけがえない存在であることを忘れないでいただきたいし、また、世界全体を視野に入れて、多様な方々の違いを尊重して、家族・部活などの仲間のグループ、クラスメート、先生方、より広い範囲の方々と積極的に、前向きに関わっていただきたいと思います。

人生の目標のような話になりましたが、このような考え方を基盤として持ちながら、今年一年の目標、今月の目標、そして、今日一日の目標と落とし込んでゆき、今という時間を大切にしてくことで、受験をされる高校 3 年生はもとより、皆さんが、それぞれの時点でのそれぞれの目標に到達できることを願っています。

以上で、新年にあたって、また 3 学期始業式にあたっての挨拶とします。ご清聴、ありが

2022 年 1 月 8 日

とうございました。